

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表) Construction of efficient RFID Information Retrieval in Traceability System	単著	平成 21 年 9 月	ETFA2009(14th IEEE International Conference on Emerging Technologies and Factory Automation) 001554(電子予稿) IEEE	著書全体の概要: 電子タグを用いたインターネット上の商品情報検索の効率化、高速化を図るため、Peer-to-Peer 技術である Chord を応用した情報検索システムの基本構成と、その性能の評価方法について提案した。 (総ページ数: 4 頁) (担当ページ: 001554(電子予稿のため担当頁特定不可能)、単著)
2 (報告・発表) Construction of Traceability System by using Simple and Handy type RFID Reader	単著	平成 19 年 9 月	ETFA2007(12th IEEE International Conference on Emerging Technologies and Factory Automation) pp.619-624 IEEE	市場における商品管理やマーケティングを活性化させることを狙いとして、エンドユーザが日ごろの消費活動において利用可能な小型で安価な電子タグリーダの構築に必要な要件、機能設計を行った内容について纏めた。 (総ページ数: 6 頁) (担当ページ: pp.619~624、単著)
3 (報告・発表) 健常高齢者の生活支援情報システムに関する一考察	単著	平成 21 年 12 月	平成 21 年電気学会第 40 回情報システム研究会pp.61~65 主催: 社団法人電気学会	健常高齢者の転倒などによる怪我を防止するための怪我防止システムに関して、システムの位置付けを高齢者自らの健康管理、および病院や介護システムにおける利用を前提として見直した。MEMS 技術を応用した小型加速度センサーと低消費電力近距離無線 LAN を用い、高齢者の行動データを動的に取得し、日頃の行動データより不安定な場合にワーニングを発する怪我防止システムの基本構成をもとに、病院・介護施設側向けインターフェースの必要性を加えた提案を行なった。 (総ページ数: 5 頁) (担当ページ: pp.61~65、単著)
4 (報告・発表) センサネットワークを利用した健常高齢者向け怪我防止システムに関する一考察	単著	平成 21 年 9 月	平成 21 年電気学会第 39 回情報システム研究会 pp.1~4 主催: 社団法人電気学会	自宅における健常高齢者の転倒などによる怪我を防止するために、MEMS 技術を応用した小型加速度センサーと低消費電力近距離無線 LAN を用い、高齢者の行動データを動的に取得し、日頃の行動データより不安定な場合にワーニングを発する怪我防止システムの考え方、および基本構成について提案を行なった。 (総ページ数: 4 頁) (担当ページ: pp.1~4、単著)
5 (報告・発表) ユビキタスの側面から見たシステム工学／ナレッジマネジメント	単著	平成 20 年 4 月	システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究会 pp.97~100 主催: 横断型基幹科学技術研究団体連合	大学において、学生間で学習情報を共有・伝達するための仕組み、システム作りの観点から、携帯電話を用いた情報検索、情報交換システムに関する必要な機能要件、システム構成に関して纏めた。 (総ページ数: 4 頁) (担当ページ: pp.97~100、単著)